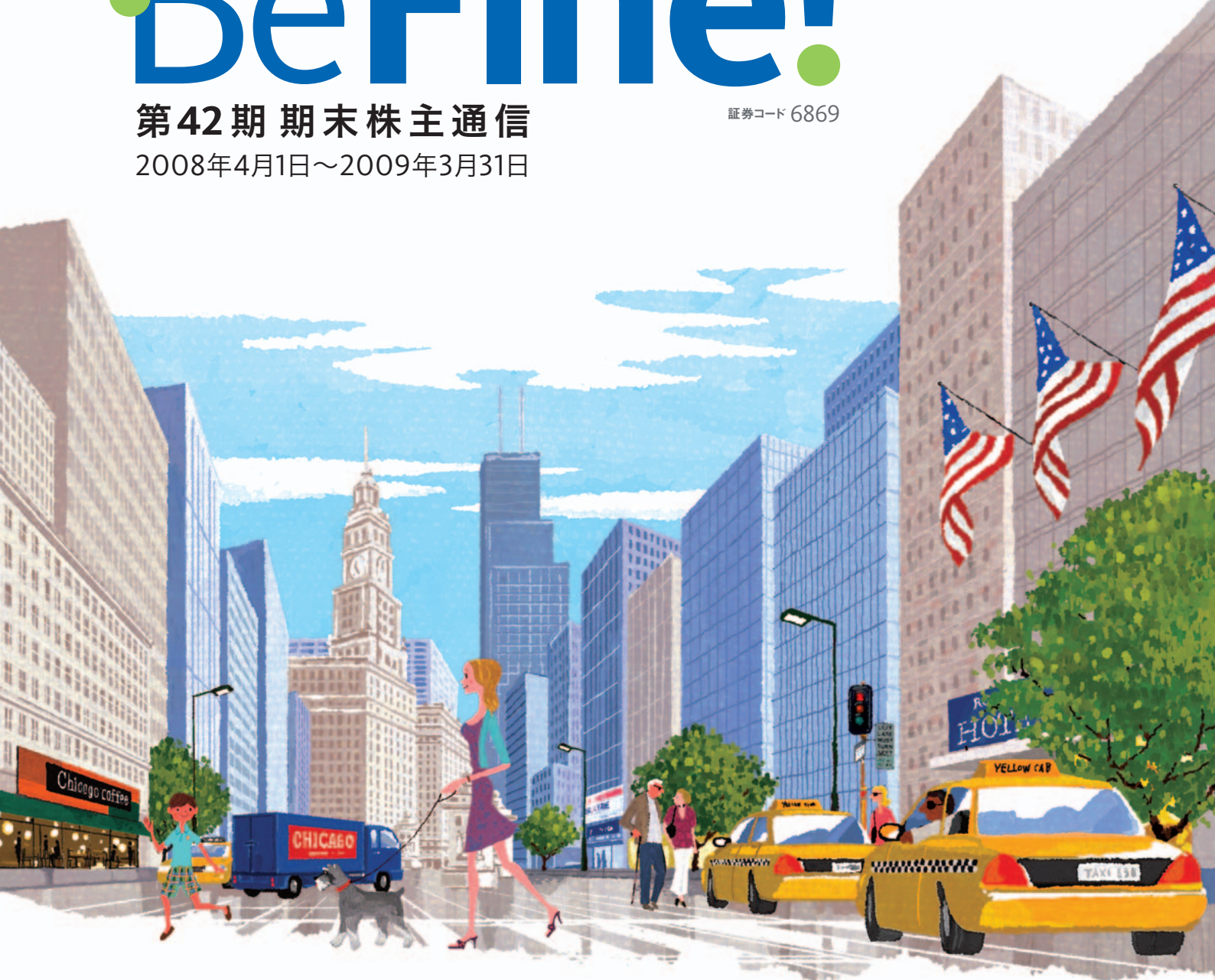


BeFine!

第42期 期末株主通信

証券コード 6869

2008年4月1日～2009年3月31日



特集

シスメックス アメリカの
南東に位置するシカゴ市街地

シスメックスグループの 新中期経営計画

シスメックス株式会社

世界経済が低迷するなかヘルスケア産業は堅調を維持。 売上高9期連続、営業利益7期連続の 増収、増益を達成しました。

海外地域がグループ全体の成長を牽引 好調な米州と中国は、大幅な伸びを達成

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当社は、新企業理念「Sysmex Way」のもと、多様なステークホルダーの皆様との絆を大切に、社会からのより厚い信頼とさらなる飛躍を目指し、健康で豊かな社会づくりに貢献したいと考えています。

さて、世界経済が低迷するなか、ヘルスケア産業においては検査の需要が底堅く、実体経済の悪化による影響は軽微にとどまっています。このような状況のもと、当社グループの2009年3月期の業績は、売上高、営業利益において過去最高を達成しました。経常利益、当期純利益につきましては、円高の影響などを受け、減益となりました。

グループ全体の成長を牽引しているのは海外地域です。特に好調な米州と中国の売上高は、現地通貨ベースでは約30%の伸びを達成し、円高と会計基準変更による影響などで減収となった欧州をカバーしました。このような海外地域の成長により、グループ全体における海外売上高比率は68%となりました。

配当につきましては、1株につき年間48円(中間期24円、期末24円)を予定しておりましたが、この度2円増配を決定し、年間50円といたしました。これにより7期連続の増配となり、連結での配当性向は31.9%となります。今後も継続的な安定配当を目指します。

新中期経営計画を発表 ポスト40周年を、さらなる飛躍と変革のステージに

本年5月、当社は2012年3月期を最終年度とする新中期経営計画を発表しました。来期(2010年3月期)の営業利益は、円高による為替の影響から減益を予想しておりますが、以降2カ年では、売上高で平均約10%、営業利益で平均約20%の伸長を計画しています。当計画に基づき、2012年3月期には売上高1,400億円、営業利益185億円の達成を目指します。

当社は2008年の創立40周年を機に、コーポレートブランドロゴの一新、研究開発拠点「テクノパーク」のグランドオープン、企業価値向上プログラムの実践などに取り組んでできました。これらの新たなリソースを活かし、次なる飛躍に向けてさらなる変革を推進してまいります。

株主の皆様には、今後ともより一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(新中期経営計画の詳細は3ページ)

代表取締役社長

家次恒

いえつぐ ひさし

【出身地】大阪【略歴】大学を卒業後、銀行に13年間勤務。

その後、東亜医用電子株式会社(現シスメックス株式会社)に入社。

1996年、代表取締役社長に就任。【趣味】読書、ゴルフ、スポーツ観戦

【信条】「意あらば通ず」

〈為替レート〉 以下記載のとおり、当期累計為替レートは前期と比べ

USDドル、ユーロともそれぞれ円高になっております。

●前期累計為替レート：1USDドル=114.3円、1ユーロ=161.5円

●当期累計為替レート：1USDドル=100.5円、1ユーロ=143.5円

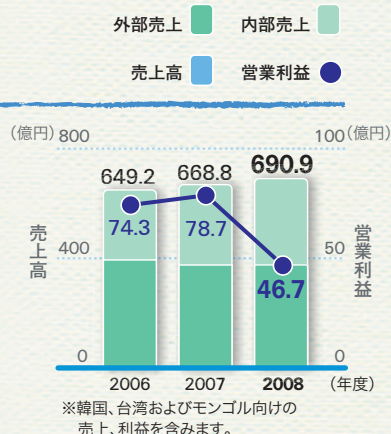
日本

厳しい市場環境のなか、複数の大型案件を獲得 好調な海外への輸出が増加

- お客様のニーズに対応したソリューション提案*により、大学病院などで複数の大型案件を獲得しました。
- 円高の影響やテクノパーク建設に伴う費用（一過性）の増加などにより、営業利益は減益となりました。



テクノパーク



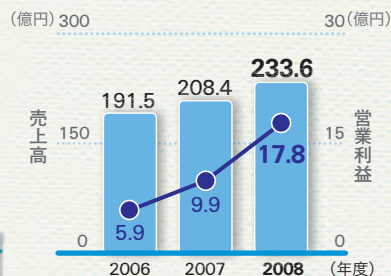
米州

直接販売・サービスにより、血球計数検査分野の売上が 大幅に増加するとともに、営業利益が大きく伸長

- IHN（米国統合ヘルスケアネットワーク）などに向けた血球計数検査分野の機器・試薬の売上が好調に推移しました。
- 中南米では、血液分析システム製品の販売が大きく増加しました。



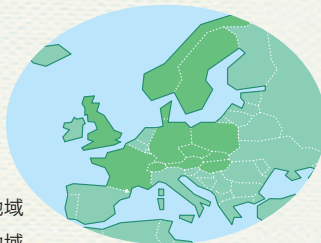
血液分析システム HSTシリーズ



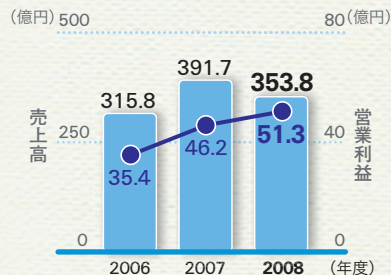
欧州

会計基準の変更などにより減収となるものの 営業利益率が改善

- フランス、スペインおよび新興国（東欧・ロシア・アフリカ・中東）を中心に売上が増加しました。
- 試薬の売上構成比の増加、直販化などにより、営業利益率が改善しました。



■直接販売の地域
■間接販売の地域



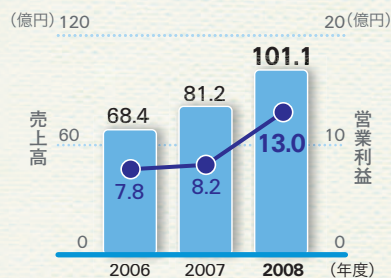
中国

販売・サービス活動強化の推進により 売上高が初めて100億円を突破

- お客様への直接提案により、血液分析システム製品の売上が大幅に増加しました。
- 機器のアップグレードやメラミン混入事件の影響などにより、尿検査分野の売上が大幅に増加しました。



シスメックス上海



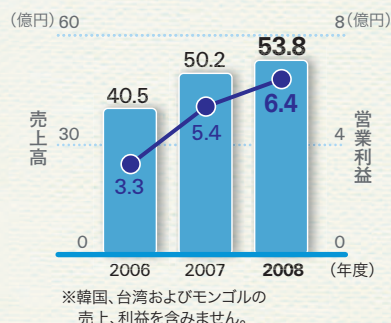
アジア・パシフィック

血球計数検査分野での売上が着実に伸展し 増収増益を達成

- オーストラリアでの血液分析システム製品を含む大型案件の受注により、売上が好調に推移しました。
- 市場の成長が続くインドにおいて、小型の血球計数装置の販売が大幅に伸長しました。



多項目自動血球計数装置 pocH-100i



シスメックスグループの 新中期経営計画

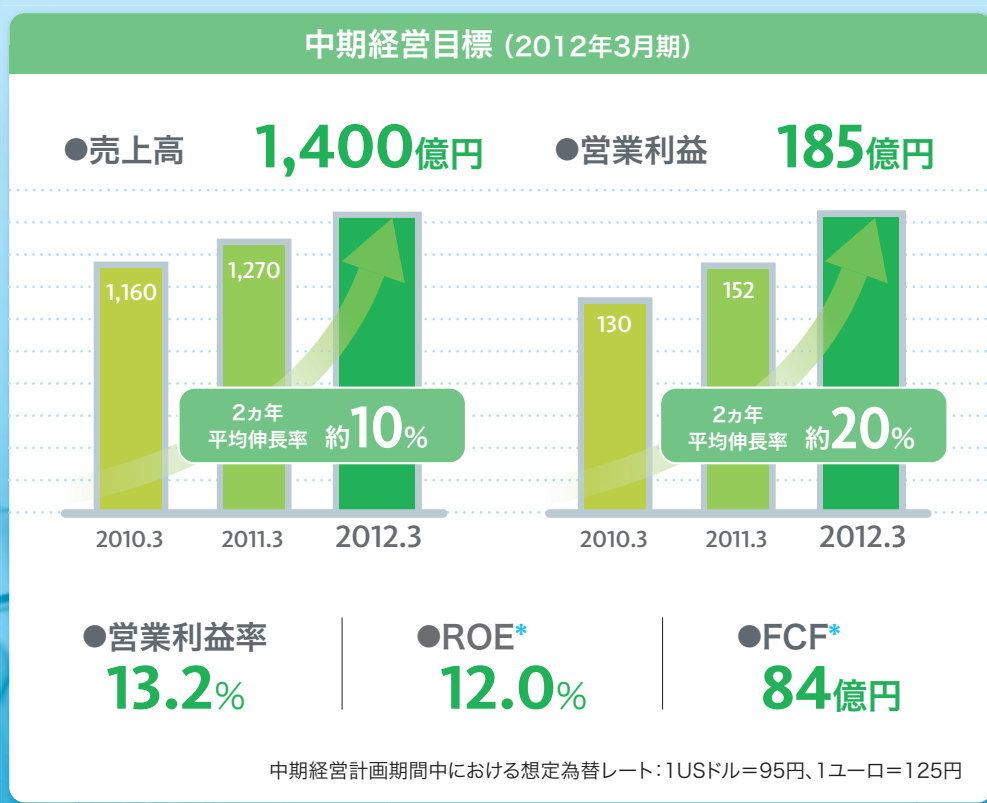
— 持続的な高成長とさらなる収益性の向上を目指して —

先進国では高齢化が進展し、先進医療へのニーズが拡大する一方、新興国では経済発展に伴い、医療インフラの整備が進められるなど、医療・ヘルスケア産業は堅調に推移しています。このような市場環境を背景に、シスメックスは2012年3月期を最終年度とする新中期経営計画を策定

しました。新中期経営計画では長期ビジョンの達成を目指して、3つの基本戦略を継続するとともに、今後3年間で重点的に取り組むべき5つの課題を掲げています。

当計画のもと、持続的な高成長とさらなる収益性の向上を図り、長期ビジョンの実現を目指します。

— 中期経営計画（2010年3月期～2012年3月期） —



長期ビジョン

A Unique & Global Healthcare Testing Company

特徴のあるグローバル企業として、先進のテクノロジーと独自の強みを活かしたソリューションをお客様に提供することで、ヘルスケア TESTING のニッチ領域においてリーディングカンパニーになる。

— 基本戦略 —

グローバルニッチ No.1

血球計数検査分野に加えて
血液凝固検査分野、尿検査分野における
グローバル No.1 の地位を強化する

アジア フォーカス

日本を含むアジアにおける
検体検査領域の
リーディングカンパニーを目指す

ライフサイエンス フォーカス

がん診断分野を中心とした
ニッチ領域の
リーディングカンパニーを目指す

5つのグループ重点課題と取り組み

1

ヘマトロジー分野*における 成長の持続

- 北米でのさらなる市場シェア拡大
- 欧州（先進国）での継続的な成長
- 中国、アジア・パシフィック、東欧、アフリカなど新興国での売上拡大

2

ノンヘマトロジー分野*における 成長の加速

- アジアでの総合サプライヤーとしての活動強化
- 血液凝固・尿検査分野でのグローバル展開

3

ライフサイエンスの 事業化の推進

- 「リンパ節転移迅速検査システム」の市場導入推進
- 子宮頸がんスクリーニング検査、糖尿病関連の研究開発推進
- マイクロアレイ分野*での活動推進

4

研究開発の強化

- 商品開発のスピードアップ
- 新規技術の獲得

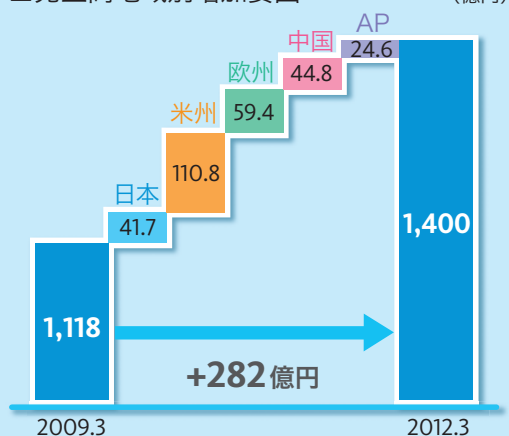
5

企業体質の強化

- グループ全体での環境への取り組み
- グループ経営管理の強化
- グローバル化に対応した人材育成と人事制度の再構築

■売上高地域別増加要因

(億円)



*ヘマトロジー分野：血液中の赤血球や白血球などの数や種類、大きさを測定することにより、精密な検査が必要かどうかを判断するための検体検査分野。

*ノンヘマトロジー分野：血液凝固検査、免疫検査、尿検査、生化学検査などのヘマトロジー分野以外の検体検査分野。

*マイクロアレイ分野：DNAチップを用いた遺伝子検査分野。

TOPICS
トピックス

経営

2008年

- 6月 • モンゴル厚生省が当社の血液分析装置を基準器として採用
 • 中東湾岸地域における販売・サービスを強化するため、ドバイ (UAE) に現地法人を設立
- 10月 • コーポレートブランドロゴを一新
 • 「“知”の創造と継承」をコンセプトとした研究開発拠点、「テクノパーク」グランドオープン
- 12月 • インド合弁会社を完全子会社化



テクノパーク「R&Dタワー」

2009年

- 1月 • 粉体計測分野のバイオニアである米国カンタクローム社製粉体計測装置の販売・サービスを開始
- 3月 • 米国で9年連続顧客満足度No.1を獲得
 • ベネルクス三国*における販売・サービス体制の拡充について発表
 • シーメンス社 (米国) との血液凝固関連製品に関する販売提携契約を更新

*ベネルクス三国：ベルギー、オランダ、ルクセンブルク

技術・製品

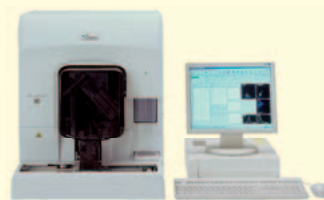
2008年

- 11月 • 乳がんリンパ節転移迅速検査システムが初めて保険適用 (国内初)
- 12月 • ニワトリのインフルエンザウイルス感染を迅速・簡便に検査できるキットの販売を発表

遺伝子増幅検出装置
RD-100iニワトリ用インフルエンザ
迅速診断キット
ボクテム トリインフルエンザ

2009年

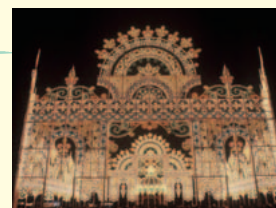
- 1月 • 血液中に遊離した生きたがん細胞を高感度に検出する技術を確立
 • エピジェノミクス社 (ドイツ) と大腸がんの早期発見技術について共同研究を開始
- 2月 • 約10分で鳥インフルエンザウイルスを検出する技術を開発
 • 多項目自動血球分析装置XTシリーズの新モデル「XT-4000i」を発売
- 3月 • 遺伝子組み換え技術を用いた原料による、血液凝固検査用試薬を発売



XT-4000i

2008年

- 5月 • 中国四川省大地震災害の被災地へ検査機器と関連試薬を寄付
 • ミャンマー・サイクロン被災地へ検査機器と関連試薬を寄付
- 11月 • モスクワ大学からのインターンシップを受け入れ
- 12月 • 神戸ルミナリエに協賛



ルミナリエ

©Valerio Festi/I&F Inc./Kobe Luminarie O.C

2009年

- 4月 • 企業内託児所
 「シスメックスキッズパーク」を
 テクノパーク内に開設



シスメックスキッズパーク

その他

シスメックス Q&A

難しいと思われがちなシスメックスの事業内容について、
皆様の疑問や質問に、わかりやすくお答えします。

シスメックスのこと
いろいろ教えて
ください

いろいろ
知りたい投資家

キュージ
Q児さん

シスメックスの事業

- ▼ シスメックスは「検査」を通じて皆様の健康に
貢献しています。
- ▼ 「検査」の市場は全世界で拡大傾向にあり、
「景気に影響されにくい」という特長があります。

はい！ 実は、
とっても身近な
会社なんです！

シスメックスの
ことならおまかせ！

エイコ
A子さん

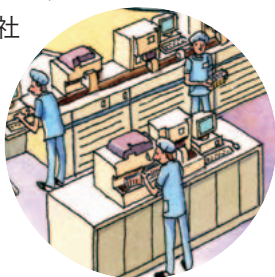
シスメックスは、実は身近な会社。
医療になくてはならない存在です。

Q児さん 今更ですが、シスメックスの事業について
やさしく教えてください。

A子さん Q児さんも、健康診断や病院の検査で、
血液検査や尿検査を受けたことがありますよね？

Q児さん ええ、あります。

A子さん シスメックスは、その血液検査や尿検査に
必要な機器や試薬、ソフトウェアを開発し、製造・販売
しています。病院や検査センターなど、
実はQ児さんのすぐそばで、当社
の製品が使われているんです。



病院の検査室では、患者さ
んから採取された血液や尿
が、さまざまな検査装置を
使って分析されています

Q児さん なるほど。でも病気になると、なぜ血液を
調べるんでしょう？

A子さん 体に異常や変化が生じた時、血液の成分に
も変化が現れるからです。

Q児さん 血液から、体の状態がわかるんですか？

A子さん そうです。血液中の赤血球や白血球など
の数を調べることで、全身の健康情報が得られます。
シスメックスは、医療において一番の基本となる、欠か
せない検査を支えているんですよ。

Q児さん すごい。そんなに身近な会社だったんですね！

豊かな健康社会のために、
世界中で「検査」の役割は高まっています。

Q児さん 日本以外にも、欧米など高齢化が進んで
いる国々では、検査の役割は重要ではないですか？

A子さん そのとおりです！ 先進国はもちろん、新興
国でも経済成長とともに医療水準が上がり、検査の重要
性はますます高まっています。つまり、シスメックス
が事業を展開している検査の市場は、これからも拡大し
ていくと予想されるのです。

Q児さん でも、自動車やエレクトロニクス業界のよ
うに、この不況の影響は受けるんでしょう？

A子さん 体の調子が悪くなって病院に行けば、より
正確な診断のために検査を受けますよね？ 不況だからと
いって重要な検査を省くことはできません。つまり、不況
とはあまり関係のない分野でシスメックスは事業を展開
しているんです。

Q児さん 目からウロコです。シスメックスの事業が
よくわかりました！

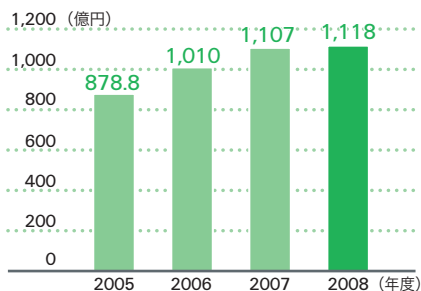


なるほど!!
医療において、
シスメックスの製品は
必要とされているの
ですね！

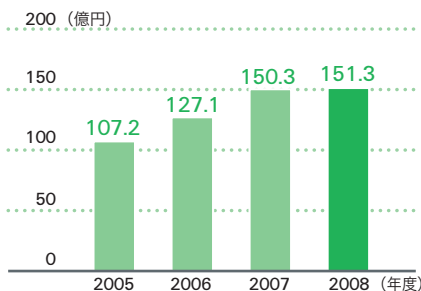
病気の正確な診断や治療に
検査は欠かせません

財務諸表の概要 連結

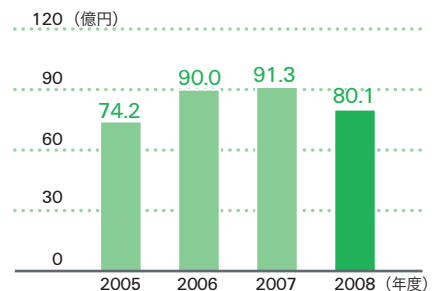
売上高



営業利益



当期純利益



ポイント

資産・純資産

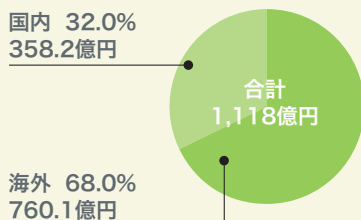
資産合計は前期末と比べて94.9億円増加し、1,185億円となりました。また、純資産合計は前期末と比べて7.3億円増加し、798.5億円となりました。

ポイント

売上高

売上高は1,118億円(前年同期比1.0%増)となり、海外売上高は760.1億円(同1.7%増)、海外の構成比は68.0%(同0.5ポイント増)となりました。

—— 地域別売上高(当期連結) ——



ポイント

営業利益・経常利益・当期純利益

営業利益は151.3億円(前年同期比0.7%増)となりました。一方、急激な円高による為替差損の発生により、経常利益は129.8億円(前年同期比10.7%減)、当期純利益は80.1億円(同12.2%減)となりました。

貸借対照表

(単位:百万円)

	当期末 2009年3月31日現在	前期末 2008年3月31日現在	増減額
流動資産	67,622	66,923	
固定資産	50,899	42,103	
● 資産合計	118,521	109,027	9,494
流動負債	33,444	26,241	
固定負債	5,226	3,668	
● 負債合計	38,670	29,910	8,760
資本金	8,685	8,651	
資本剰余金	13,623	13,588	
利益剰余金	59,120	55,737	
自己株式	△196	△185	
● 株主資本合計	81,233	77,791	3,442
その他有価証券評価差額金	△44	351	
為替換算調整勘定	△2,006	610	
● 評価・換算差額等合計	△2,050	962	△3,012
新株予約権	577	236	341
少数株主持分	89	127	△38
● 純資産合計	79,850	79,117	733
● 負債・純資産合計	118,521	109,027	9,494

損益計算書

(単位:百万円)

	当期 2008年4月1日から 2009年3月31日まで	前期 2007年4月1日から 2008年3月31日まで	前年同期 増減率(%)
● 売上高	111,842	110,724	1.0
売上原価	40,838	45,396	
売上総利益	71,004	65,327	
販売費及び一般管理費	55,870	50,293	
● 営業利益	15,134	15,033	0.7
営業外収益	934	880	
営業外費用	3,082	1,369	
● 経常利益	12,985	14,545	—
特別利益	109	40	
特別損失	747	661	
● 税金等調整前当期純利益	12,347	13,924	—
法人税、住民税及び事業税	4,071	5,245	
法人税等調整額	234	△428	
少数株主利益又は少数株主損失	28	△24	
● 当期純利益	8,013	9,131	—

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当期 2008年4月1日から 2009年3月31日まで	前期 2007年4月1日から 2008年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,193	11,634
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,544	△12,883
財務活動によるキャッシュ・フロー	723	△1,316
現金及び現金同等物に係る換算差額	△641	△479
現金及び現金同等物の増減額	△268	△3,044
現金及び現金同等物の期首残高	9,679	12,714
現金及び現金同等物の期末残高	9,410	9,679

ポイント

営業活動によるキャッシュ・フロー
減価償却費が72.2億円、仕入債務の増加額が23.7億円となったことなどにより、営業活動の結果得られた資金は131.9億円となりました。

ポイント

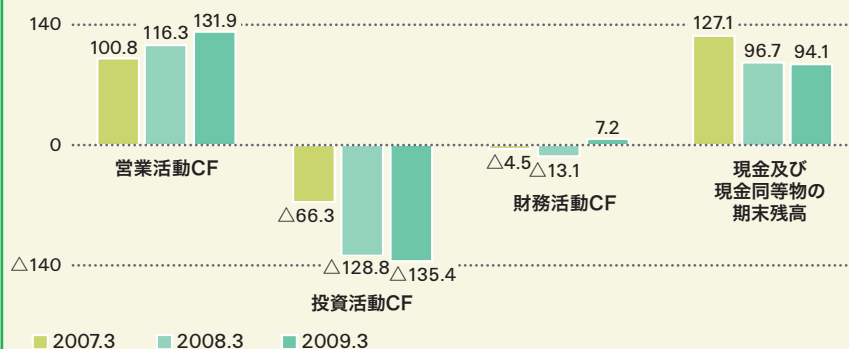
投資活動によるキャッシュ・フロー
研究開発拠点「テクノパーク」の建設などによる支出が93.9億円となったことなどにより、投資活動の結果使用した資金は135.4億円となりました。

ポイント

財務活動によるキャッシュ・フロー
短期借入金の純増加額が58.7億円となったことなどにより、財務活動の結果得られた資金は7.2億円となりました。

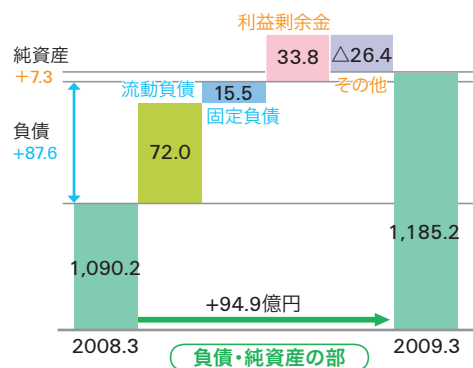
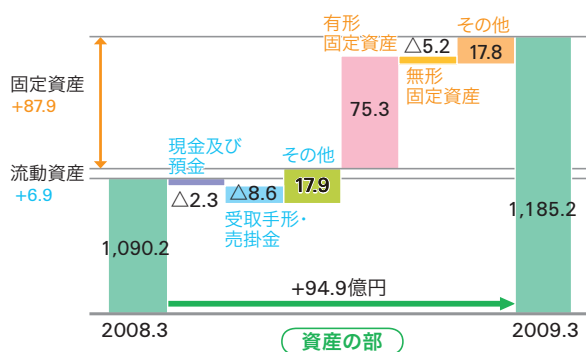
●キャッシュ・フローの推移

(単位:億円)



●貸借対照表の増減要因

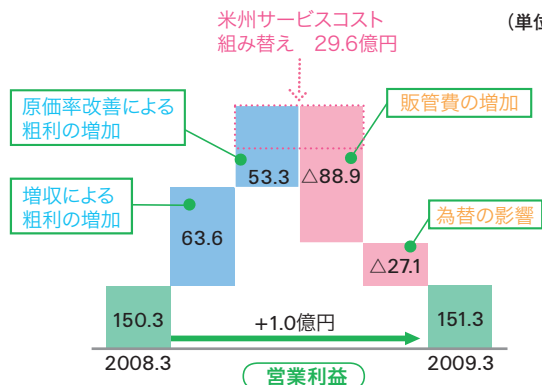
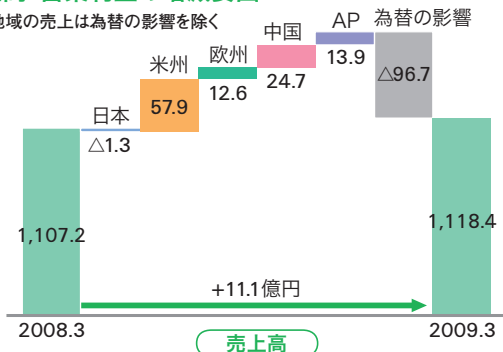
(単位:億円)



●売上高・営業利益の増減要因

※各地域の売上は為替の影響を除く

(単位:億円)



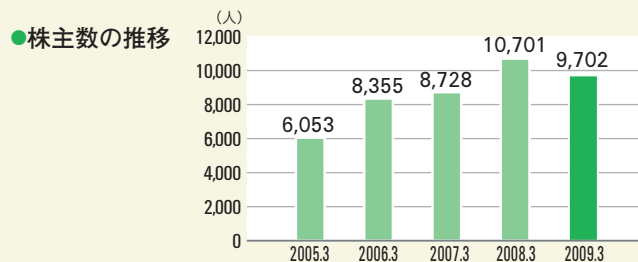
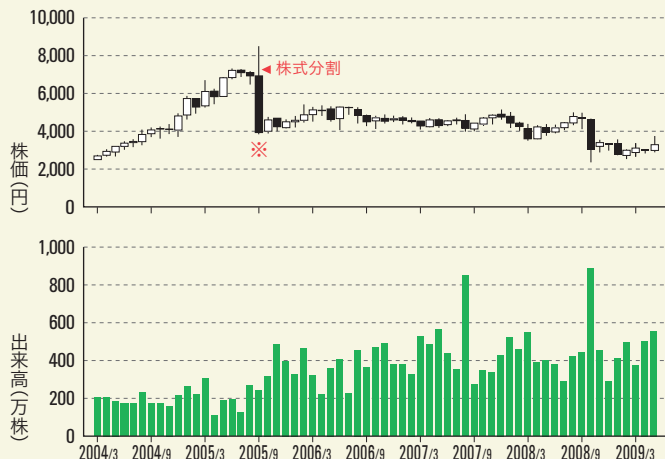
株式の状況／会社概要

株式の状況

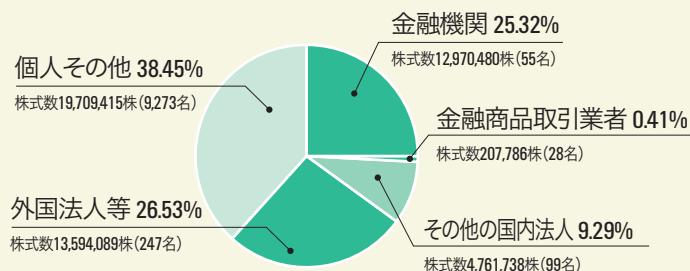
(2009年3月31日現在)

- 会社の発行可能株式総数 149,672,000株
- 発行済株式総数 51,243,508株
- 株価・出来高の推移 (2009年5月31日現在)

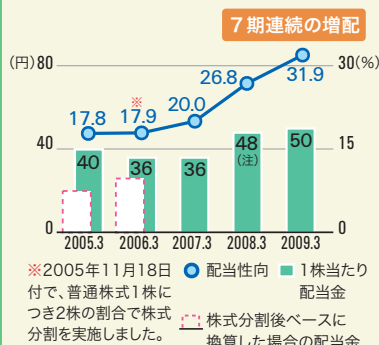
※2005年11月18日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しました。



所有者別分布状況



● 配当性向(連結)/1株当たり配当金

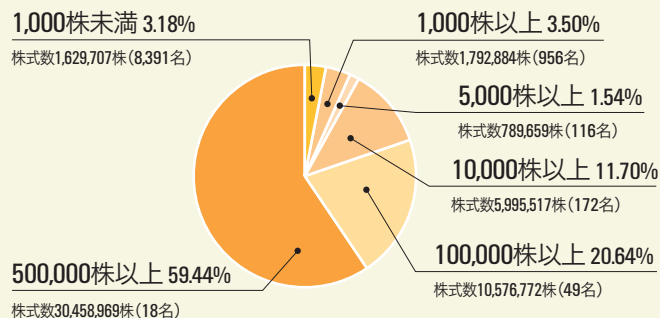


● 配当政策

当社は、安定的な高成長を継続させるための積極的な投資と、収益性の向上に伴う株主の皆様に対する利益還元との適正なバランスを確保することを目指しております。株主還元については、継続的な安定配当に留意するとともに、業績に裏付けられた成果の配分を行うという基本方針のもと、連結での配当性向20%を目処に配当を行ってまいります。

(注)：配当金48円 … 創立40周年記念配当8円を含む。

● 所有数別分布状況



会社概要

(2009年3月31日現在)

- 商号 シスメックス株式会社
SYSMEX CORPORATION
(1998年10月1日東亜医用電子株式会社から商号変更)
- 設立年月日 1968年2月20日
- 資本金 86億8,504万円

- 格付け A (R&I:格付投資情報センター)
- 従業員数 1,456名
※上記の従業員数には関係会社への出向者202名および嘱託、パートタイマー260名は含んでおりません。
- 主な事業の内容 臨床検査機器、検査用試薬、粒子分析機器
ならびに関連ソフトウェアなどの
開発・製造・販売・輸出入

役員のご紹介

(2009年6月19日現在)

代表取締役社長 家次 恒
取締役専務執行役員 雪本 賢一
取締役常務執行役員 林 正好
取締役常務執行役員 大東 重則
取締役常務執行役員 中島 幸男
取締役常務執行役員 田村 幸嗣
取締役執行役員 尾辺 和也
取締役執行役員 渡辺 充

執行役員 西野 卓嗣
執行役員 鵜原 克夫
執行役員 北川 正己
執行役員 石田 道明
執行役員 浜口 行雄
執行役員 合田 隆
執行役員 浅野 薫

常勤監査役 小林 晴美
常勤監査役 宮内 利幸
監査役 藤岡 弘
監査役 稲益 勇

U.S.A (米国)

創業当初から、海外展開を視野に入れ
市場開拓を進めているシスメックス。
海外売上高比率が7割に迫るいま、
現地の状況をより詳しくお伝えするため、
現地の責任者が海外統括拠点をご紹介します。



SYSMEX AMERICA, INC.
President & CEO

ジョン カーショウ
John Kershaw



シスメックス アメリカ

米国顧客満足度調査No.1を獲得！ 独自の提案力と製品力で、シェア拡大中！

医療大国・米国ではオバマ政権のもと、4,500万人に上る無保険者の解消と、医療費削減を目指す大規模な医療保険制度改革の必要性が声高に唱えられています。この米国で、当社は2003年より、代理店を介した間接販売から、直接お客様に販売・サービス活動を行う体制に切り替えました。その結果、他社が真似できない提案と競争力の高い製品によってシェアを拡大し、米国顧客満足度調査ではNo.1の評価を獲得することができました。

■米国の顧客満足度 (2009年4月 米国の調査機関MD BUYLINEによるデータ)

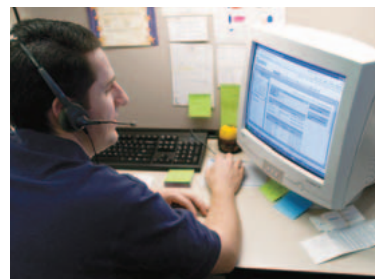
	性能	信頼性	設置	ユーザー 研修	サービス/ レスポンス	サービス/ 品質	総合
シスメックス	8.8 [✓]	8.7 [✓]	9.0 [✓]	9.0 [✓]	8.9 [✓]	8.9 [✓]	8.9 [✓]
ベックマン・コールター社	8.4	8.0	8.3	8.6	8.2	8.1	8.3
アボット社	7.6	7.1	8.3	7.9	7.5	8.0	7.7
シーメンス社	7.6	7.4	8.9	8.8	7.6	7.4	7.9

✓：最高ポイント

© All Rights Reserved. MD Buyline, Inc.2008

景気に左右されにくい医療需要 世界的経済不況の影響は、米国でも軽微に

不況によって、自動車などの業界では影響が出ているようですが、医療に関する需要は景気に左右されることが少なく、当社が事業を展開する検体検査市場での需要も比較的安定しています。事実、米州全体の2008年度売上高は、現地通貨ベースで前年と比べ27.5%増加しました。米国では今後も、質の高い効率的な医療への需要はさらに高まっていくと予想されます。この世界最大のマーケットでのシェア拡大を継続するため、より積極的な活動を推進していきます。



コールセンターの
オペレーター

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月
- 基準日
 - 定時株主総会 3月31日
 - 期末配当金 3月31日
 - 中間配当金 9月30日
 その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
- 公告方法

当会社の公告方法は、電子公告とします。

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

電子公告掲載ホームページアドレス www.sysmex.co.jp

- 上場証券取引所 東京証券取引所市場第1部
大阪証券取引所市場第1部
- 証券コード 6869
- 単元株式数 100株
- 株式事務
 - 株主名簿管理人 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 - 特別口座の 三菱UFJ信託銀行株式会社
 - 口座管理機関
 - 同連絡先 〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号
 - 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 - (郵便物送付先・ 〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号
 - 電話照会先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 - 電話 0120-094-777(通話料無料)

お知らせ

1.株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ウォーキング

生活習慣病の予防は、日々の生活習慣の改善から。

適度な運動の習慣を身につけることも、健康づくりには欠かせません。

手軽にできて長続きする運動として、いま、ウォーキングが注目されています。

増え続ける生活習慣病を予防するために

長年の好ましくない生活習慣が要因となって引き起こされる生活習慣病。日本では、がん、心臓病などの生活習慣病で亡くなる方が増え続けています。その予防には、まず生活習慣の改善が欠かせません。禁煙、食生活の改善はもちろんですが、適度な運動習慣を身につけることで、肥満や高血圧などの予防・解消が期待されます。



ウォーキングのコツは楽しく自分のペースで

運動不足の解消法として、「有酸素運動の王様」といわれるウォーキングが注目されています。いつでも自分のペースで、家族や友人とも一緒にできる手軽さが人気の秘密。その基本は血圧を上げないように、決して無理をしないこと。自分の体調に合わせて、楽しく歩くことを心がけましょう。

水分補給は、
ウォーキングを
始める前に!



※体調に不安のある方は、
まず専門医にご相談ください。

スポーツジム
でも活躍!

こんなところにシスメックス

採血なしでヘモグロビン量を簡単測定 —末梢血管モニタリング装置「アストリム」—

運動時の体調管理に役立つのが、血液中のヘモグロビン測定です。体内に酸素を供給する役割を持つヘモグロビンの量で、体のコンディションを知ることができます。「アストリム」は、装置に指を入れるだけで、わずか20秒でヘモグロビン量を測定。光によって測定するため採血が不要で感染などの心配もないため、スポーツジムやアスリートのトレーニングにも活用されています。



野口みずき選手が所属する
シスメックス女子陸上競技部でも
使われている「ASTRIM SU」

IR カレンダー

2009.6—2009.9

2009年

6月19日

●第42回 定時株主総会開催 ①配当関係書類、②本誌を発送。

6月22日

●配当金振込みの方：本日付で指定の口座へ振り込まれます。

6月22日～7月31日

●配当金領収書受け取りの方：ゆうちょ銀行および郵便局でお受け取りになれます。

※8月1日以降はお近くの三菱UFJ信託銀行にてお受け取りください。

8月初旬

●2010年3月期 第1四半期決算発表

●第43期 第1四半期株主通信『Be Fine!』発送

9月10日～9月30日

●単元未満株式買い増し手続き停止期間

※証券保管振替機構をご利用の場合、証券会社によって期間が異なる場合がございますので、お取引の証券会社にお問い合わせください。

9月24日

●シスメックス株式会社権利付株式最終売買日

※9月25日～9月30日に当社株をご購入されても、2009年9月末における配当の権利は得られません。

9月30日

●2010年3月期 中間期末